



◆◇◆ NEWS RELEASE ◇◇◆

阪神淡路大震災を機に受け継いだ“港町 神戸のシンボル” 日本唯一の「ホテルに建つ公式灯台」を1月17日に特別公開

＜初の午前中公開、地元団体によるチャペルコンサートも実施＞

◆概要◆

神戸メリケンパークオリエンタルホテル(所在地:兵庫県神戸市中央区／総支配人:平石豊)は、1995年の阪神淡路大震災を機に旧オリエンタルホテルから受け継いだホテルに建つ公式灯台を、2015年1月17日(土)に一般公開いたします。

これまでも震災の日の一般公開は行って参りましたが、今年は震災から20年を迎えるにあたり、初めて午前中の時間帯にも一般公開を実施いたします。またチャペルでは、震災から生まれた楽曲「しあわせ運べるように」の合唱など、地元小学校をはじめとする3つの団体によるコンサートを実施いたします。(予約不要・参加費無料)

◆イベント内容◆

①灯台公開

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災で被災し、全壊した旧オリエンタルホテル(神戸市中央区京町)から受け継いだ日本で唯一の「ホテルに建つ公式灯台」を1日限定で一般公開いたします。

この灯台は海上保安庁から正式に許可を受けており、世界でも大変珍しいとされています。

【日時】 2015年1月17日(土) 8:00～10:00／15:00～17:00

※雨天決行、荒天時中止

【場所】 14階 南側バルコニー

【見学方法】 予約不要、参加費無料 上記時間内、どなたでもご見学いただけます。

ホテル灯台の歴史について

1964年、旧オリエンタルホテルが中央区京町に移転する際、「港町 神戸のシンボルに」と、日本で初めてホテルの屋上に設置。1995年の震災で旧オリエンタルホテルは全壊し、30年間 1日も休むことなく神戸の海を照らし続けた灯台は、休止をやむなくされました。しかし、同年7月に開業が決まっていた神戸メリケンパークオリエンタルホテルへの移設が決定。「神戸の復興のシンボルとなるように」という想いの中、ホテルの屋上に設置される事となりました。

1995年(平成7年)7月7日に行われた点灯式では、午後7時7分に神戸の復興を願う777発の花火があげられ、その日から再び海の安全を見守り続ける灯台として神戸の海を灯し続けています。



②チャペルコンサート

阪神淡路大震災から20年を迎える節目にあたり、震災を体験していない若い世代にも歌を通じて震災を知っていただきたいという想いで、地元小学校・中学校のみなさんにコンサートへの参加を依頼。

神戸の復興を願って歌い継がれて来た「しあわせ運べるように」をはじめとする楽曲を合唱・演奏していただきます。

【日時】 2015年1月17日(土) 15:00～16:00 ※雨天決行、荒天時中止

【場所】 チャペル「マリンホール」(1階)

【見学方法】 予約不要、参加費無料 上記時間内、どなたでもご見学いただけます。

【出演団体】 神戸市立本山第二小学校6年生 有志のみなさん／神戸市立葺合中学校 吹奏楽部のみなさん
混声合唱団Parsley(パセリ)のみなさん

※両イベントの問い合わせは、078-325-8102 (マーケティング課 イベント担当)まで。

《このリリースに関するお問い合わせは》

神戸メリケンパークオリエンタルホテル

広報担当 内匠(たくみ) 陽子 ・ 大岩 祥子

電話 078-325-8102(広報直通) FAX 078-393-1021

住所 神戸市中央区波止場町5番6号